公益社団法人日本技術士会　ＣＰＤ行事実施報告書

開始日時	平成２８年９月３日（土）	１３時３０分
終了日時	平成２８年９月３日（土）	１６時４０分
名　　称	第 38 回 CPD 防災講演会	
主 催 者	公益社団法人日本技術士会　千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 15 階　多目的室（千葉市中央区中央 4-5-1）	
行事内容	開会及び主催者代表挨拶 講演1.「大規模広域災害に対する地域の備え」 ～人の動き、情報の動き、モノの動きを制御する　～ 葛西章広 氏　一般財団法人AVCC（高度映像情報センター） システム企画部チーフコンサルタント 講演2.「過去の災害広報から学ぶ」 石川慶子 氏　㈲シン　取締役社長　広報コンサルタント	
参加人数	43名（内　企業2名）	

第 38 回 CPD は、防災講演会を実施した。

防災の日を契機に「来るべき（突然の）大災害への備え　～過去の大災害から学ぶ～」をメインテーマとして被災地の支援にかかわってこられた方の実体験に関する話と、災害広報の専門家による話、2 題の講演を行った。

講演を通じ、自然災害のメカニズムを学び、いざ災害が発生した時の対応について、あらかじめ学習し心構えを持っていることは非常に重要なことであることを認識できた。

講演 1 では、講師の豊富な被災地支援活動や地域の防災啓発活動を例に、「人の動き」「情報の動き」「ものの動き」を制御できないとどういう結果になるか、わかりやすく語られ、この視点は新鮮であり、今後の「備え」を考え、行動していくうえでたいへん有益であった。

講演 2 では、リスクとクライシスの違い、リスクを放置しておくとクライシスになる、リスク・クライシスについては情報提供者（説明責任者）とその受信者、双方向のコミュニケーションが必要など、リスク、クライシスコミュニケーション（災害広報）の基礎について解説いただいた。また、過去の災害広報事例を参考に、改善すべき点と有益であった点について言及いただいた。

講師と聴衆の双方向のコミュニケーションを通して、研修会風に話が展開された。参加者は当初戸惑っていたが、講師の適切な誘導が奏効し、後半は参加者からの意見や質問が相次ぎ、たいへん盛り上がった。